

# 学校自己点検・自己評価報告書

2020年5月

学校法人 ISI 学園 専門学校 長野ビジネス外語カレッジ

2020年5月作成

# 目次

<b>基準 1 教育理念・目的・育成人材像等</b> .....	1	<b>基準 4 教育成果 専門課程</b> .....	12
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか.....	1	4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか.....	12
1-2 学校の特色はなにか.....	2	4-19 資格取得率の向上が図られているか.....	12
1-3 学校の将来構想を抱いているか.....	2	4-20 退学率の低減が図られているか.....	13
<b>基準 2 学校運営</b> .....	3	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか.....	13
2-4 運営方針は定められているか.....	3	<b>基準 5 学生支援 専門課程</b> .....	15
2-5 事業計画は定められているか.....	3	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	15
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか.....	4	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	15
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか.....	4	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか.....	16
2-8 意思決定システムは確立されているか.....	5	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか.....	16
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか.....	6	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか.....	17
<b>基準 3 教育活動 専門課程</b> .....	7	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか.....	17
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか.....	7	5-28 保護者と適切に連携しているか.....	17
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか.....	7	5-29 卒業生への支援体制はあるか.....	18
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか.....	8	<b>基準 6 教育環境</b> .....	19
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか.....	8	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか.....	19
3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか.....	9	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか.....	19
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか.....	9	6-32 防災に対する体制は整備されているか.....	20
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか.....	10	<b>基準 7 学生の募集と受け入れ</b> .....	21
3-17 資格取得の指導体制はあるか.....	11		

7-33	学生募集活動は、適正に行われているか.....	21
7-34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか.....	22
7-35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか.....	22
7-36	学納金は妥当なものとなっているか.....	23

## **基準 8 財務 ..... 24**

8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか.....	24
8-38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか.....	24
8-39	財務について会計監査が適正におこなわれているか.....	25
8-40	財務情報公開の体制整備はできているか.....	25

## **基準 9 法令等の遵守 ..... 26**

9-41	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか.....	26
9-42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか.....	26
9-43	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか.....	27
9-44	自己点検・自己評価結果の公開はしているか.....	27

## **基準 10 社会貢献 ..... 29**

10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか.....	29
10-46	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか.....	30

# 基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

\* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

## 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	ISI 学園の理念は「世界を翔ける即戦力、創造力の育成」としており、本校の特徴を示している。また、学生の「国際力」「専門力」「人間力」を育む教育方針を定めている。	特になし
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	中期事業計画、年度事業計画を明確に設けて目標達成に取り組んでいる。	特になし
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	理念・目的は一貫しているが、社会のニーズに答え、適宜カリキュラムの変更、コースの改編を行っている。	特になし
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	学園のホームページ、学内報等で広く学内外に周知、公表している。また、本校の理念・目的・育成人材像等は、学校の行事・授業等にすべて結びついているため広く認知されていると考えている。	特になし

**1-2 学校の特色はなにか**

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	5	国際化に対応する英語のコミュニケーション能力、ビジネスや学術的なフィールドで即戦力となる人材育成などが学校の特色として挙げられる。また、国際理解、海外留学、就職支援も学校の魅力と特色として挙げられる。	県内・地域における産・学・管の連携を強化し、より実践的教育を行い、即戦力としてのスキル修得を強化していく必要がある。

**1-3 学校の将来構想を抱いているか**

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	中期計画で学校の将来構想を定めており、社会ニーズの変化に合わせて、適宜修正している。2021年度にはコース改編を行い、さらに実践教育を充実させる。	特になし

総括	課題及び改善内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念・目的・育成人材像は、学校案内等に明確に示している。目的・育成人材像は一貫性があり、また平易な言葉で示しているため、学生、保護者への周知も十分と考える。</li> <li>・「国際力」「専門力」「人間力」の育成を教育方針としており、国際理解、語学力、海外留学、就職支援が学校の魅力である。</li> <li>・本校の将来構想は、企業連携を深め、職業実践専門課程の適合校となり、より高い次元でのグローバル人材育成教育機関を目指すことである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育理念は一貫しており、教職員および学生全員には継続した周知がなされている。一方で日々変革を続けるビジネスシーンに適応するために必要なスキル並びに求められる人物像をより明確に分かりやすく示すことが課題である。また、専門学校としての知名度は決して高いとは言えないのでの高校、短大、大学へのPR戦略の見直しが必要である。</li> <li>・学校の教育理念・目標を明確に伝えるため、入学生のみならず、入学前の相談会やオープンキャンパス等の広報活動時においても伝えていきたい。また学校全体の理念と併せて、学科ごとに求められるスキルを精査し、学生に対し目標を一層明確に具体的に示せるようにしていく。</li> </ul>

## 基準 2 学校運営

\*5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

### 2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	学園の教育目標に基づき、運営方針を定めている。	特になし
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	5	学園のホームページ、学内報等で広く学内外に周知、公表している。	特になし
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	5	就業規則、人事考課規定、給与規定、年間行事予定、各種会議日程、戦略マップ等が学園の運営方針を基に定めている。	特になし

### 2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	5	年度事業計画、中期事業計画、事業方針が整備されており、学校の目的実現のため、教職員ともにひとつにして取り組んでいる	特になし
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	5	事業計画に沿って、部門ごとに年間事業計画、アクションプランを定め、目標達成のために取り組んでいる。	特になし

## 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-6-6 運営組織図はあるか	5	運営組織図を整備しており、毎月社内掲示板で公表している。	特になし
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	5	教育運営と管理運営で組織が明確化され、それぞれが業務分掌に従い意思決定を行い、有機的な運営を行っている。	特になし
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	5	権限、役割、業務内容などが規定化され、それに基づき業務を遂行している。	特になし

## 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	専修学校設置基準の定員確保に加え、学校の目的を達成のための有能な人材確保・育成をおこなっている。OJT などにより教職員のスキルアップを図る必要がある。	長期的な教職員育成のための研修制度、人事計画をグループ校とも連携して策定中である。
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	5	人事制度に明確に定められており、規程の定めや実情に合わせて客観的判断により、公平・公正に実施している。	特になし
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	5	人事制度に昇進昇格について明確に定めている。	特になし
2-7-12 賃金制度は整備されているか	5	ISI 給与規定により公正に支給されている。	特になし

2-7-13 採用制度は整備されているか	5	人事制度の中で採用を判断しており、法定の教員数確保に加え、学校独自の教育目標達成のための教職員の人材確保をおこなっている。	特になし
----------------------	---	---	------

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	毎月公表しており、正確に把握している。	特になし

## 2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	5	教育運営と管理運営で組織が明確化され、それぞれが業務分掌に従い意思決定を行い、有機的な運営を目指している。	特になし
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	5	意思決定システムは、規則・規程等で権限などを明確にしており、管理運営意思決定のプロセスについても、原則それぞれの会議録などで確認できるようにしている。	特になし
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	専修学校設置基準の定員確保に加え、学校の目的を達成のための有能な人材確保・育成をおこなっている	OJT などにより教職員のスキルアップを図る必要がある。



## 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	4	勤務管理・入出金管理、稟議などの業務はweb決済で業務の効率化が図られている。	システムの研修を行い、業務効率を図る。

総括	課題及び改善内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制、教員組織、事務組織ともに専修学校及び日本語教育機関の設置基準を満たしている。</li> <li>・運営組織や意思決定も学校の目的・目標達成のために、規程に基づきより効率的なものとなっている。また、人事体系、賃金体系、昇進・昇格に関しても制度化を図っており、適切な運営がなされていると判断される</li> </ul>	長期的な教職員育成のための研修制度、人事計画の策定。

## 基準 3 教育活動 専門課程

\* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

### 3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	教育課程のコース編成については学校関係者、マーケティング統括部も含め構成される会議において検討し、最終的に決定しており、理念及び教育目標に合致している	社会変動、ニーズの変化のみに左右されず、長期的且つ計画的にコース設定方針を定める必要がある

### 3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を養成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	4	目標とする教育到達レベル、教育内容、教育方法についてはガイダンス、シラバス、日常の授業において明示している。また、業界の人材ニーズにレベルを照らして適宜修正を行っている。	シラバスに関してはより学生が分かり易いように作成していく。

### 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	各学科において、必修・選択科目ともに学校目標達成のために編成している。	カリキュラムが社会のニーズに即したものであるか常に検証する必要がある。
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	4	カリキュラムの内容については学校関係者、マーケティング統括部も含め構成される会議において検討している。	業界など外部者の意見を反映している部分が一部に限られており、今後より多く関係業界の意見を取り入れていく。
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	5	常勤の教務会議、教務全体会議で教員間の共通理解を図り、教育推進部の承認を得て最終的に決定している	特になし
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	3	社会ののニーズに即したものであるか定期的に検討しているものの、十分とはいえない。	今後より多く関係業界の意見を取り入れてからこそ、カリキュラムの適切な見直しが可能である。

### 3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	5	各学科において、必修・選択科目の配分・授業時間・授業形態は関係法規を遵守し、適切に配分、運営している。	特になし
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	5	目標とする教育到達レベル、教育内容、教育方法などについてシラバスに明記している	特になし
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	5	一コマごと目標、方法、内容を明記している。	特になし

### 3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目		評価	現状・具体的な取り組み
3-14-10 学生による授業評価を実施しているか	4	全学科、全科目に対して年2回の授業評価を行っている。	回答率が低いことが課題である。
3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	4	年に2回実施している学生による授業評価アンケートによる評価結果を重視することとなっている。校長、教務主任により授業見学を行っているが、十分とはいえない。	学生のみならず、教職員による授業評価、授業研究制度の構築。

### 3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	5	専修学校設置基準、法務省告示基準を順守しており、専門性・人間性・教育力等を備えた教員を確保している。	特になし
3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	5	専修学校設置基準の定員確保に加え、学校の目的を達成のための有能な業界実務経験者を確保している。	特になし
3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	5	業界実務経験者の専門性を把握しており、授業評価、授業見学で適宜把握している。	特になし

3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	4	年間目標を決め、資質向上のために自ら外部の研修に参加及び社内研修を行っている	教員の授業に配慮した研修日程の調整が課題。
3-15-16 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	3	公開授業、授業見学を行って把握しているが十分とはいえない。	教授力評価体制の構築
3-15-17 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	3	授業研究会、教務間の交流を行っているが、十分とはいえない。	上述の教員研修と合わせ、インストラクションスキル向上のために研修を設けていく。
3-15-18 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	4	教員間、教職員間で教育・運営面で効率を高めるように協業している。	協業をスムーズに行なうための情報交換方法についてさらに明確にしていく。
3-15-19 非常勤講師間で適切に協業しているか	5	協業に関する取り決めに沿って適切に行っている	特になし
3-15-20 非常勤講師の採用基準は明確か	5	専修学校設置基準と法務省告示基準を遵守し、非常勤講師選考規程により採用を行っている。	特になし

### 3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	単位認定の基準は学則、各科目の成績評価は成績評価規定に定めており、科目別のシラバスにも明記している。	特になし

3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	5	学科によって明確な基準を定めている。	特になし
---------------------------------------	---	--------------------	------

**3-17 資格取得の指導体制はあるか**

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	5	学科、コース事の目標を明確に定めており、到達レベル、取得資格も明確に定めている。	特になし
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	4	日本語学科においては JLPT、EJU 国際コミュニケーション学科、グローバルビジネス学科においては TOEIC、HSK、MOS、ビジネス検定などを目標とする教育内容を取り入れている。	社会と関連業界のニーズに応えられるように取得資格目標の見直しを検証する。

総括	課題及び改善内容
<p>本校はグローバル人材を育成する専門学校であることからその専門職に必要な知識の習得を教育活動の大きな目標とし、同時に社会に貢献できる人材育成に努めている。</p> <p>常に業界の人材ニーズを把握するよう努めている。修業年限に対応した教育達成レベルは明確にされ、そのカリキュラムをさらに体系的に適正に編成するため学校関係者、マーケティング統括部も含め構成される会議において検討し、最終的に決定しており、理念及び教育目標に合致している。さらに、今後、会議で出された意見を踏まえ、カリキュラムの検証を行い、さらに2021年度からのカリキュラムを検討していく。成績判定、卒業判定、進級判定は明確に整備されており、学生スタートブック、ホームページで公開している。また、定期的に検証している。学生による授業評価は長年実施しており、その結果は各担当教員に知らせており、教育力向上に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界のニーズに応えられるような人材育成を迫っている一方で留学生が多く在籍している本校では留学生のニーズにも応えられるように留意しなければならない。</li> <li>・学生による授業評価の結果を重視することとなっており、評価体制、評価方法及び評価基準が整備されていないので今後検討していく。</li> </ul>

## 基準 4 教育成果 専門課程

\* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

### 4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
4-18-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	就職率は100%を目標としており、例年95%前後を推移している。担任と就職担当教職員が常に連携しており、学生の就職活動を把握し、適宜必要なサポートをしている。	学生の就職意識の醸成が課題である。
4-18-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	各就職先の人事及び卒業生からの話を聞くガイダンスを実施している。就職データを正確に作成しており、適切に管理している。	特になし

### 4-19 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
4-19-3 資格取得率の向上が図られているか	4	在校生の資格取得率は年々向上しているが、一部留学生の資格取得に課題がある。	資格取得は仕事に必要な不可欠と学生に理解させる。そのために日常的に取得の必要性、資格の意味、活用方法について説明および指導を行う。
4-19-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	取得者数及びその推移に関する情報を正確に把握している。	特になし

#### 4-20 退学率の低減が図られているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
4-20-5 退学率の低減が図られているか	4	日本人学生、留学生ともに昨年度に比べ、減少している。	留学生の経済的理由による退学が課題である。
4-20-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	入学者、退学者及びその推移ともに明確に把握しており、検証を行っている。	特になし。

#### 4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
4-21-7 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	4	適宜卒業生の就職先を訪問し卒業後の実態把握に努めている。	卒業生の進路先での活動状況、社会的評価は本校教育成果を反映する大事なものであり、早急に把握する体制を構築する必要がある。
4-21-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	各就職先の人事及び卒業生からの体験談を学校案内、HP、社内誌で掲載している。	効率的に卒業生の現状把握することが難しい。
4-21-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	3	長野市鬼無里村の依頼を受け、「鬼無里に外国人を呼ぶ」企画に参加し、在校生の発表が評価された。	卒業生及び在校生の外部コンテストへの参加、地域の企画に参加できる体制を構築していく。
4-21-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか。	3	上述の例を公式 Facebook、line に掲載している。	同上



総括	課題及び改善内容
<p>本校学生に対する教育の主眼点は、社会に貢献することができ、対応できるグローバル人材を育てることでもある。そのため、学生が就職活動に必要な情報をいち早く知る事が出来、また対応できるよう指導し、就職希望者全員が就職できることを目標に支援体制を強化している</p> <p>留学生が多数在籍していることから卒業時の進路調査には格別に留意している。卒業後の進路先の書類を回収し適切に管理を行っている。また、出入国管理局には規定とおりに届出を行っている。</p>	<p>学校での教育、生活指導などの充実を証明するには在校生の学ぶ姿勢も重要であるが、最も重要なことは、卒業生が職場で活躍し、社会及び業界で評価され、認められることである。そのためにも卒業生の活動状況、社会評価を把握する体制を構築していく必要がある。</p>

## 基準5 学生支援 専門課程

\* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

### 5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-22-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	担任及びキャリアセンターで指導を担当しており、相互協力体制を構築している。	特になし
5-22-2 就職に関する説明会を実施しているか	5	業界等の協力を得て就職説明会、セミナーなどを適宜実施している	特になし
5-22-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	5	担任及びキャリアセンターで学生の個別相談を適切に行っている。	特になし
5-22-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	5	カリキュラムの中にキャリアデザイン、就職対策を加えて面接、履歴書の書き方、立ち居振る舞いなどの指導を行っている	特になし

### 5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-23-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	生活面は生活指導職員、学習面は教員、進路面はキャリア担当など役割を明確にして学生面談を行っている。	特になし

5-23-6 学生相談室を開設しているか	5	開設しており、上述のように有効に機能している	特になし
5-23-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	4	複数の学生からの面談に応じる職員を配置している。	カウンセラーの研修を継続していく。
5-23-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	5	多言語で対応できる職員を配置しており、有効に機能している。	特になし

#### 5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-24-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	専門学校長野ビジネス外語カレッジ学費減免制度及び学費分納、延納制度を設けており、有効に機能している。	家計の急変による経済的支援制度を検討していく。
5-24-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	5	ISI 奨学金制度及び学外の奨学金制度を学生に案内している。	特になし。
5-24-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	5	学費減免、分納、延納制度を整備している。	特になし

#### 5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-25-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	5	年に1回 12月に全員定期健康診断を受診する。健康診断のデータは事務局で保管し、管理している。再検査が必要な学生は担任教員指導の下、再検査を行う。	特になし

5-25-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	4	日常の学校生活で教職員による学生の健康管理をおこなっており、必要に応じて病院に同行している。	組織的な健康管理体制の整備
5-25-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	4	提携産業医による相談或いは近隣の医療機関との相談体制となっている。	学校医または医療機関との提携を検討する。

### 5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-26-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4	授業の一環として行っている課外活動以外にも校内でのイベント、学校外の交流会などの支援を行っている。	課外活動に対する支援体制を整備していく。

### 5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-27-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5	寮監常駐の学生寮 2 箇所を整備しており、必要に応じて民間アパートの情報も提供している。	特になし

### 5-28 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-28-17 保護者と適切に連携しているか	3	クラス担任により保護者とお互いに意思の疎通を図っている。	留学生の保護者との連携が課題である。

## 5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
5-29-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	2	組織化されているが、活動が十分とはいえない。	卒業後の情報を収集し、卒業生、同窓会支援のための体制を構築する。
5-29-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	3	卒業生の再就職ための支援を行っている。	支援体制の整備

総括	課題及び改善内容
<p>本校では学生支援を充実させるために毎年学生満足度調査を行っている。学生満足度の結果分析を行い、学生からの貴重な意見を次年度の学生支援業務に取り入れている。</p> <p>就職支援では就職担当者がきめ細やかな進路支援をし、業界等の協力を得て、就職説明会を適宜開催している。また新規就職先開拓、卒業生との連携等を積極的に行っている。</p> <p>経済的不安定な学生対しては独自の奨学金制度を整備しており学生の経済支援体制を整えている。学生の経済支援、健康管理、学生寮に関しては、相当程度充実している。</p> <p>保護者との関係・連携は年々充実が図られているが留学生の保護者との連携が課題である。</p> <p>卒業後の支援に関しては再就職、キャリアアップ等の相談に適切に対応している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援についても制度化している。</li> <li>・卒業後の情報を収集し、卒業生、同窓会支援のための体制を構築する。</li> </ul>

## 基準 6 教育環境

\* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

### 6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
6-30-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	専修学校の認可基準を全て満たしており、法務省の告示基準をすべて満たしている。本学独自の教育目標を達成するに十分な設備を備えている。	特になし
6-30-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	5	施設・設備については適正に点検を行い必要であれば補修等を実施している。	特になし
6-30-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	5	施設・設備の更新は校舎更新、修繕計画をもって計画的に行っており、当該年度の予算編成に反映している。	特になし

### 6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
6-31-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	4	インターンシップに関する規定を整備しており、企業側と連携して行っている。毎年実習先に就職を決める学生も増えている。	インターンシップ先の拡大を図っていく。

6-31-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4	受け入れ先からの報告及び学生からの研修レポート提出や研修後の報告会を実施している。	教職員への今まで以上の情報提供・周知徹底を図る。
--	---	---	--------------------------

### 6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
6-32-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	4	問題発生対応手順、災害発生時の基本対応などが ISI グループ校危機管理マニュアルに整備している。	職員の危機管理意識に温度差があり、社員教育に一層力をいれていく。
6-32-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	5	法定点検にて指摘された事項に則り、整備を行っている。	特になし
6-32-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	NA	特になし	特になし
6-32-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	5	建物（火災・家財）保険に加入している。また、防災用器具、防災ウォーター、非常食などを備蓄しており、定期的に補充・交換している。	特になし
6-32-10 防災訓練を実施しているか	5	全校で年 1 回適切に実施しており、避難経路、避難場所を確認している。	特になし

総括	課題及び改善内容
校地、校舎、施設、設備などはすべて専修学校の認可基準を全て満たしており、法務省の告示基準を全て満たしている。施設・設備の日常的な保守、更新などにも、専属の担当者及び専門の業者を配置するなど組織的・定期的に行い、教育環境の安全確保に努めている。 防災についても規程の整備がなされており、毎年度防災訓練を実施し、防災に対する意識の喚起を行っている。	職員の危機管理意識向上の取り組みを行っていく

## 基準7 学生の募集と受け入れ

\* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

### 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
7-33-1 学生募集活動は、適正に行われているか	5	学園の理念、教育方針に沿って ISI 学園が求める学生像を定めて受け入れ方針を決定している。年間募集計画、営業スケジュールを策定し、広報活動を行っている	特になし
7-33-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	5	学校パンフを最近の学生に分かり易く、理解度を高めることができるようなビジュアル面を重視した紙面づくりに努力しており、SNSの活用も進めている。	
7-33-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	5	志願者からの問い合わせ対応については、専用のフリーダイヤルを設置して対応している。志願者等からの入学相談には適宜適切な対応を心掛けている。	
7-33-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	5	学科ごとの定員充足を目標に募集活動を行っており、募集定員範囲を厳守している	特になし



**7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか**

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
7-34-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	5	学校案内において教育方針やそれに沿った教育内容、カリキュラム、就職状況等について紹介している。	特になし
7-34-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	5	同上	特になし

**7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか**

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
7-35-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	日本人学生選考基準、留学生選考基準それぞれ整備されており、厳格に順守している。	法改正などに伴い、留学生受け入れ選考基準を随時変更していく。
7-35-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	学科毎に合格率・辞退率などのデータを蓄積し、適切に管理している。学科別応募者数・入学者数予測値を算出し、実績を踏まえ、次年度の募集計画を作成する。	特になし

## 7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
7-36-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	5	学納金は諸状況を勘案して決定している。同分野、同地域の学納金水準を把握しており妥当なものだと考えている。	特になし
7-36-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	情報及び推移を正確に把握しており、募集活動の参考資料としている。	特になし

総括	課題及び改善内容
<p>学生募集に関しては学園本部のマーケティング統括部で行っており、日本人学生は長野県地域を中心に、留学生募集は関東地域を中心に全国に展開している。日本語学校との関係強化をはかるため進学ガイダンスや説明会に積極的に参加している。その成果も徐々に始まり、本校に対する認知度も高まり、多くの留学生が出願するようになっている。日本人学生も年々増加傾向である。日本語学科に関しては東南アジアの学生が中心となっており、2019年度は募集不振により減少傾向である。</p> <p>志願者への情報提供は進学ガイダンスや説明会、また、学校パンフ、募集要項、SNS、ホームページを活用して分かり易く伝えることに留意しながら行っている。遠方でOC参加が困難な留学生に対しては年数回の学校見学バスツアーを行っており、志願者と日本語学校関係者から好評を受けている。選考基準、選考プロセスを整備し、公正な入試選考を行っている。</p>	<p>留学生の経費支弁力の確認方法の見直しが必要である。</p>

## 基準 8 財務

\* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

### 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
8-37-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5	学生の応募者数・入学者数及び定員充足率の推移から財務状況は安定しているといえる。	特になし
8-37-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	5	財務数値などは経営に必要な重要資料なので適切に作成しており把握している。	特になし

### 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
8-38-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	5	年度予算状況についてはまず予算編成方針が決定され、それに基づく方針に沿って予算計画が策定している。それにはその年度における重要方針・政策判断などを、予算に反映させている。	特になし
8-38-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	5	予算執行状況は管理部、学校で把握できるようになっており、随時確認しているため妥当と判断できる。	特になし

### 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
8-39-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	監事は監査を実行し、その結果を記載した監査報告書を作成して理事会に報告している。また、ホームページで公開している。	特になし
8-39-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	年間スケジュール表に基づき、会計士による監査が適時実施されている。	特になし

### 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
8-40-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	私立学校法第47条第2項に基づいた規程を整備しており、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、監査報告書を公開している。	特になし
8-40-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	5	ホームページ上に情報公開のページを設け、積極的に情報公開している。	

総括	課題及び改善内容
定員充足率の推移により財務状況は良好であるといえる。年度予算は役員会の予算編成方針に基づいて策定している。また、中期計画による予算は、設備投資計画に沿った適正な予算配分により策定されている。 私立学校法に基づく財務情報については、学内の設置のほか、学園ホームページで公開している。	特になし

## 基準 9 法令等の遵守

\* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

### 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-41-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	法令違反のないように、法令順守のための体制を整え、周知徹底している。	特になし
9-41-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	5	学園として寄附行為、ポリシー、規程等に従い、公共性と社会責任を顧みて教職員が社会の一員として法令遵守に努力するように啓蒙している。	特になし

### 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-42-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	『学校法人 ISI 学園個人情報の取扱いについて』『学校法人 ISI 学園個人情報の取扱いに関する同意書』などを設備している。また、個人情報の保護に関する法律および関係する法令を遵守し、適正な取扱いに努めている。	特になし
9-42-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	5	個人情報の適正な取扱いを目的とした整備、および個人情報保護のための啓蒙活動に努めている。	特になし

### 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-43-5 自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか	5	毎年学校全体で「自己点検・評価委員会」を開催し、記載項目の確認等を行っている。P D C Aサイクルによる改革・改善を図っている	特になし
9-43-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	5	自己点検・自己評価に関する規定を整備しており適切に行っている。	特になし
9-43-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	5	学生および保護者などの利害関係者へ公表している。	特になし

### 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
9-44-8 自己点検・自己評価結果は公開しているか	5	2013 年度の実施以来毎年ホームページ上に公開されている。	特になし
9-44-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	5	「専修学校における学校評価ガイドライン」を基準に適切に公開することを決定している。	特になし
9-44-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	5	専修学校における学校評価ガイドライン」を基準に適切に関係者へ周知している。	特になし

総括	課題及び改善内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園として寄附行為、3 ポリシー、規程等に従い、公共性と社会責任を顧みて教職員が社会の一員として法令遵守に努力している。</li> <li>・文科省、長野県、出入国管理局への届け出を確実にっており、過去 10 年連続出入国管理局留学審査部門より適正校をと認定されている</li> <li>・プライバシーポリシー、情報保護管理規程により、個人情報の利用について定め、情報管理者を置いて必要な取り組みを行なっている。</li> <li>・毎年自己点検・自己評価を実施し、報告書を学園ホームページで公開している。</li> </ul>	<p>特になし</p>

## 基準 10 社会貢献

\* 5.達成している 4.ほぼ達成している 3.どちらともいえない 2.取り組みを検討中 1.改善が必要 NA.当てはまらない

### 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-45-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	上田市、地元の企業、高校と幅広く交流ができるようになっている。	更に交流活動の拡大を図っていくべきである。
10-45-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	NA		
10-45-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	4	学校トイレを市民トイレとして開放している。英語検定試験会場として登録している。	更に教室の有効活用を検討していく。
10-45-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	4	2019 年度には例年よりも多くの日本人学生が海外に留学しており、主短期の英語留学をおこなっていた。	留学制度、海外研修を継続的にしていく。
10-45-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	5	入管法改正、新修学支援制度などを積極的に教職員、学生へ周知している。重要な社会問題について議論の場を設ける。	特になし
10-45-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	4	労働力不足の社会問題に対して新規に特定技能プログラムを設置した。	今後も様々な社会問題解決に貢献できるように取り組んでいく体制を整える。



<b>10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</b>
-------------------------------------

点検小項目	評価	現状・具体的な取り組み	課題とその解決策
10-46-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	2019年度は積極的に行政、地域団体と連携し、学生のボランティア活動の支援を行ってきた。	支援体制の整備
10-46-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	5	学校から学生のボランティア活動の支援を行っており、その状況を把握している。学外のボランティア活動については学校に届出をしている。	特になし

総括	課題及び改善内容
社会への貢献の度合いや本校の教育方針、教育効果等に照らして有意義な行事については積極的に取り組んでいる。地域住民から愛される学校としての存在価値を、学校行事等を通じて高めていく中、地域に無くてはならない学校としての地位を確立したい。	社会貢献、地域と連携したイベント参画や国際交流の促進については授業を中心とした学事が密に組み込まれているため制限されがちである。今後学事とこれらの両立について開催時期を含め検討していく必要がある。

平成19年の学校教育法改正により専修学校における学校評価が義務化されたことを受け、教育の質保証・向上に資するという観点から本校においても「学校自己点検・自己評価報告書」を作成した。

2019年度の報告書においては、文部科学省が発行する「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に学内に設けた委員会で議論を重ねた結果、以上の通り自己点検・自己評価報告書を作成した。

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ 自己点検・自己評価報告書を作成するにあたり学内に設けた委員会のメンバーは以下のとおりである。

2020年5月

専門学校長野ビジネス外語カレッジ 自己点検・自己評価委員会

学校長	浅野 貴稔
事務局長	李 明江
教務部長	岩本 阿由美
教務主任	堀内 美穂
教 務	高木 良幸
教 務	有馬 都
教 務	池田 三奈
教 務	白井 諭
教 務	グエン ミン ヒウ
教 務	岩岡 夏子
教 務	岩間 宏樹
事務局	山崎 勉
事務局	佐藤 結花
事務局	船水 あがさ
事務局	春原 和弘